

寒冷地での電気式温水ヒートポンプの活用による路面融雪

電気式温水ヒートポンプによる路面融雪は安全性が高く、低コスト、手間もかからない。

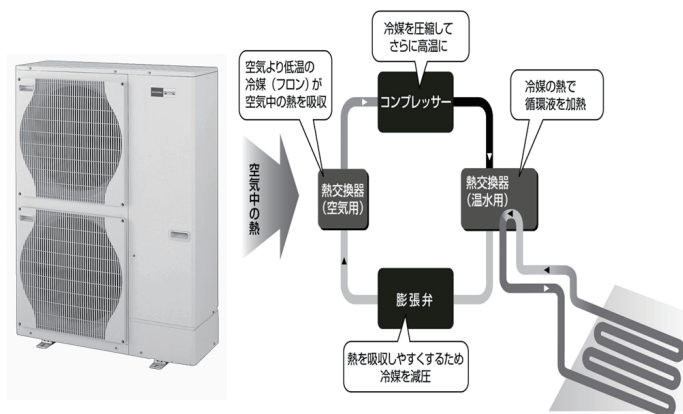
冬場の寒冷地において高齢者でも安心して暮らせる地域づくりに貢献。

背景

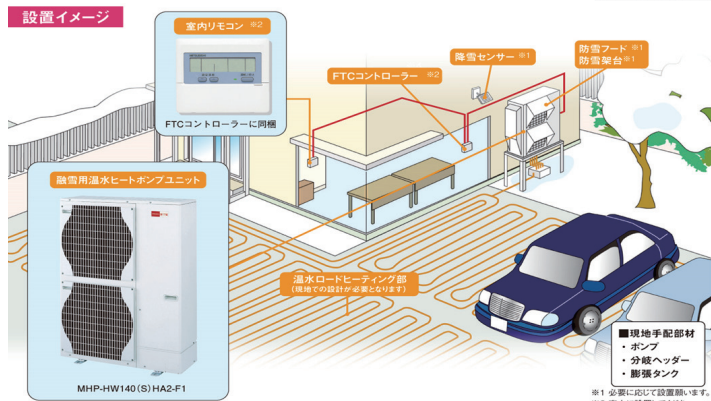
従来路面の融雪は、灯油等のボイラーで温水を作り、路面に循環させることで雪を融かしていた。近年、灯油の値上がりと夜間に火を使うため安全性の懸念もあり、さらに高齢化が進み、雪かきの労力軽減要望が高まった。

概要

ヒートポンプは、冷媒ガスが屋外の空気の熱エネルギーをくみ取り、それを圧縮機で加圧することで、冷媒を高温にして、熱交換器で融雪用の温水を作る。エネルギーコストが抑えられ、灯油の補給などの手間が省ける上、火を使用しないため安全性も高い。



設置イメージ



・石油式ボイラーから三菱電機融雪用温水ヒートポンプ室外機へ入れ替えし、路面の配管をそのまま流用。コストを抑えて、自動で融雪する。



アピールポイント

●北海道での導入例（以下はお客様コメントの要約）

「従来は2日で、石油タンクが空になるぐらい使用していたが、石油代が高騰したため、ボイラー使用を少なくし、雪かきを実施していた。融雪業者に相談したところ、ヒートポンプ式の提案があり、その中で降雪センサーによる自動運転や、電気代が得になることが気に入り採用した。導入した冬で、電気代は12月～2月の3ヵ月合計約3万円。雪はこれまでよりゆっくり融けるが問題なく、コスト・融雪能力とも満足する結果となった」

上記事例にみられるとおり、電気式温水による路面融雪は、冬場の寒冷地において、より低いランニングコストでの車輛の活用度向上、また高齢者でも安心して暮らせる地域づくりに貢献している。

2011年1月 12/24～1/26

ご使用量	1,174 kWh
【前月分のご使用量】	892 kWh
【前年同月分のご使用量】	***** kWh

指示数内訳

今回指示数	4889
前回指示数	3715
差引	1174
乗率(倍)	1
計器番号	518

今月分の計算金額(概算) 11,142 円

*上記金額は、実際のご請求額とは異なる場合がございます。

2011年2月 1/27～2/23

ご使用量	911 kWh
【前月分のご使用量】	1,174 kWh
【前年同月分のご使用量】	***** kWh

指示数内訳

今回指示数	5800
前回指示数	4889
差引	911
乗率(倍)	1
計器番号	518

今月分の計算金額(概算) 9,148 円

*上記金額は、実際のご請求額とは異なる場合がございます。